

ごみ処理だけではなかった！？

くりりんセンターに 行ってきたよ新聞

発行日

10月20日

発行者

池田 瑛翔
渡部 遥翔
神田 鈴音
廣橋 透真

くりりんセンターのひみつを ついつけました！

僕は、くりりんセンター見学に行く前までクリンセンターはただ単にゴミを処理する場所だと思いついていました。ですが、見学に行ったらクリンセンターは、発電までもしていることが分かりました。発電した電気の10分の4はクリンセンターで使っていて、10分の6は発電会社にあげるそうです。そして、くりりんセンターでは中央制御室という所があり、そこはクリーンなどくりりんセンター全体を見る所で一番重要な所だそうです。自分だったら、全部の管理はできないなと思いました。

学校では、どうやってごみの処理をしているのかと思いました。用務員の高田さんに話を聞くと、学校では、一年生プレールーム前に小さな小屋があり、その中に集めたゴミを入れてサクシンさんが回収してくれるそうです。学校では、ゴミ袋にもすごい量のお金がかかることもわかりました。学校と家庭のゴミ袋は、違うゴミ袋を使います。学校の燃えないゴミ袋は、5枚入りで5500円もするそうです。他にも、ゴミには出せないゴミがあるそうです。その出せないゴミは、1つ目が「テレビ」、2つ目が「パソコン」です。（スピーカーは対象外でストープは業者に回すのです。）



リサイクルについて

くりりんセンターでは、ゴミを燃やすだけでなく、リサイクルもしています。ペットボトルは、さいだんして、運びます。その後は、フレックになります。そして、また砕かれます。最後にペレットになります。このような順番でリサイクルされます。生まれ変わったペットボトルは、カードケースや定規、カーペット、作業服、などに生まれ変わります。リサイクルは、何回も作らないで一度使ったものをもう一度使うことができます。地球に優しくすることができます。

リサイクルした製品①

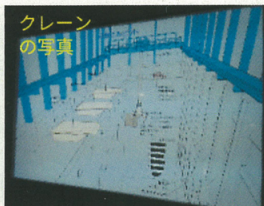


くりりんセンターの人に感謝しないね...

リサイクルした製品②



クリン(バケット)の仕事をするところ



感想

感想

僕は、くりりんセンターに行って分かったことが1つあります。その1つは、くりりんセンターはすごい量のゴミが運ばれてきていて、僕はそれを聞いてもっとゴミの量を減らしたいと思いました。そのためには、普段から無駄なものを買っては捨てるを減らしたり、ポイ捨てなどの環境に悪い事を少しづつでも減らしたりすることで、だんだんと無駄なゴミが少なくなると思いました。えいと

私は、くりりんセンターに行って、初めて知ったことは、発電をしていることです。そのちょっとをくりりんセンターで使っていることがいいなと思いました。ゴミを減らすために、私には使わないものを買わないで必要なものだけを買ったりしたいです。鈴音

くりりんセンターは、燃えるゴミの処理を全部しているのを知りました。僕は、くりりんセンターで、分別して、また違う場所に行くと思っていたので、いい勉強になりました。はると

クリーンがすごかった。ゴミを運ぶのが面白かった。ゴミ収集車がゴミを投げて面白かった。ゴミ収集車のトランクみたいな所が開いたり閉まったりするのが面白かった。とうま

くりりんセンターでクレーンゲーム！？

くりりんセンターは、クレーンを使います。まずはクレーンの話です。クレーンで、ゴミを粉々にします。ゴミを粉々にするのは理由があります。理由は、粉々にすると、燃やしやすいからです。次は、クレーンを使う人のことです。クレーンを使う人は、すごい精度が高ければならないらしいです。ですから、一般人がやるうとする、相当才能と努力がないとだめらしいです。もしかしたらクレーンを使う人は、クレーンゲームのように楽しんでいるのかなと僕は考えてしまいます。僕は、クレーン(バケット)を使う人を、応援したいと思っています。(くりりんセンターに行ってきた感想・学んだこと)僕が、くりりんセンターに行ってきた感想は、2つあります。1つ目は、くりりんセンター自体が全体的に大きいと思いました。作った人たちが、こんなに大きい建物をつくれるのがすごいと思いました。2つ目は、中央制御室のことです。理由は、異変があったら、すぐに言えるし、異変を見つけるのもすごい集中力があるので、すごいと思いました。くりりんセンターに行ったら、すごいことは、機械で細かい分別ができない時は、人が手作業でやることがわかりました。大変なので、できるだけちゃんとした分別をしたいです。

めそにクリーンがある

ゴミの処理はすごい